

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）  
令和八年三月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第1014号

龍

跳

第八十二卷

4

月号

高知  
龍跳書道会

竹  
村  
子  
雀  
書

壽

子  
雀  
志

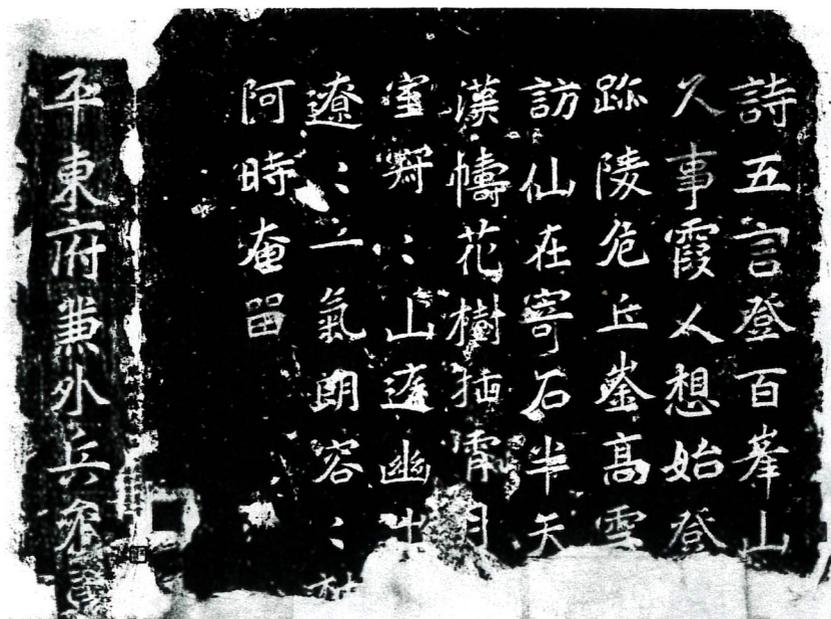
之

誼

壽  
無  
涯

登百峯山詩  
とうひゃくほうざんし

鄭道昭  
ていどうしょう



この刻石の拓本の流布するものは、現在は北京の故宮博物院に所蔵している。  
この題詩の書風は鄭書の中にあっては、「鄭義下碑」や「論經書詩」とは大きく異なる。

六朝風で『高婦彦造像記』や『敬史君碑』や『劉碑造像』等に近い書風であり、点画や転折それに用筆法等に同じ傾向が見られ、非常に洗練された結構を示している。

野 島 桂 山 書

弄石臨溪坐尋花遶寺行時聞鳥語處是泉聲

弄石臨溪坐尋花遶寺行  
時聞鳥語處是泉聲

桂山書

隅 田 亘 心 臨

跡陵危丘峯高雲訪仙在寄石半天

跡陵危丘峯高雲訪  
仙在寄石半天

亘心臨

梅  
川  
桂  
龍  
書

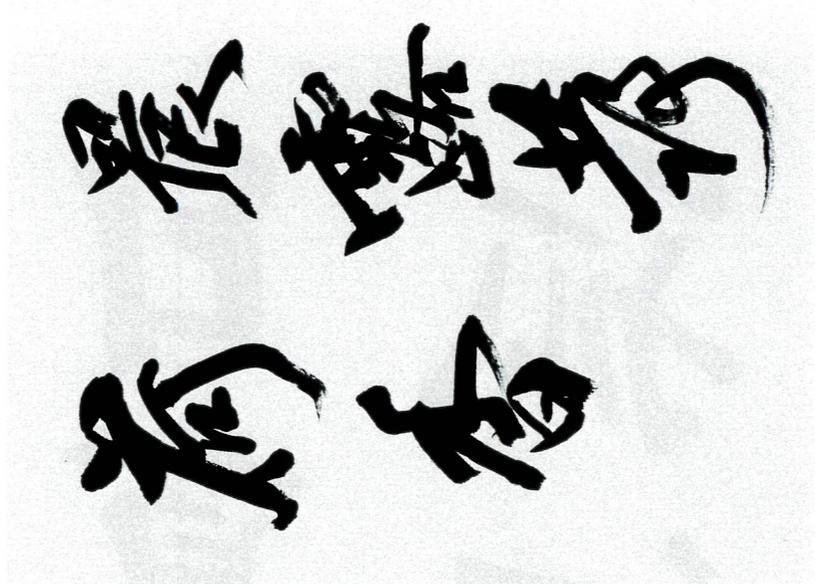
日暮且孤征

日暮且つ孤征す

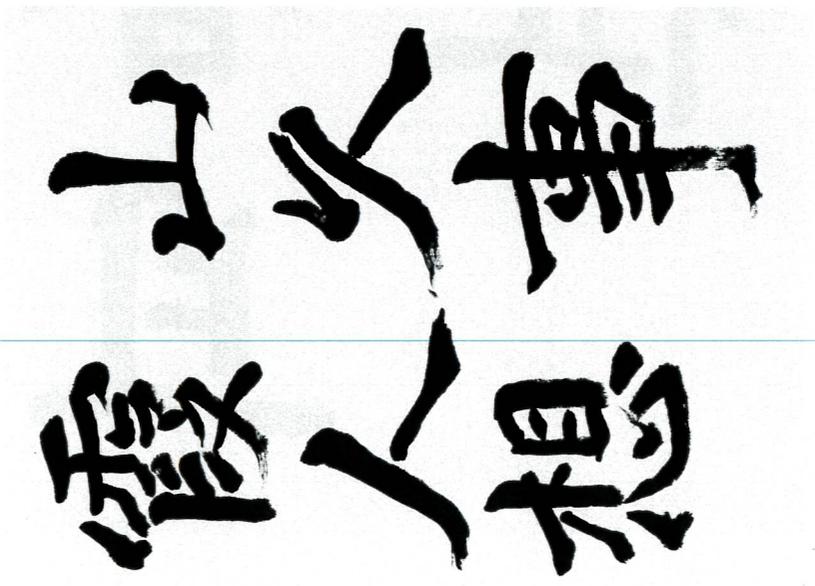
4月20日締切

福 原 曉 雲 書

しんくわごはつ  
晨 露 荷 發 寸

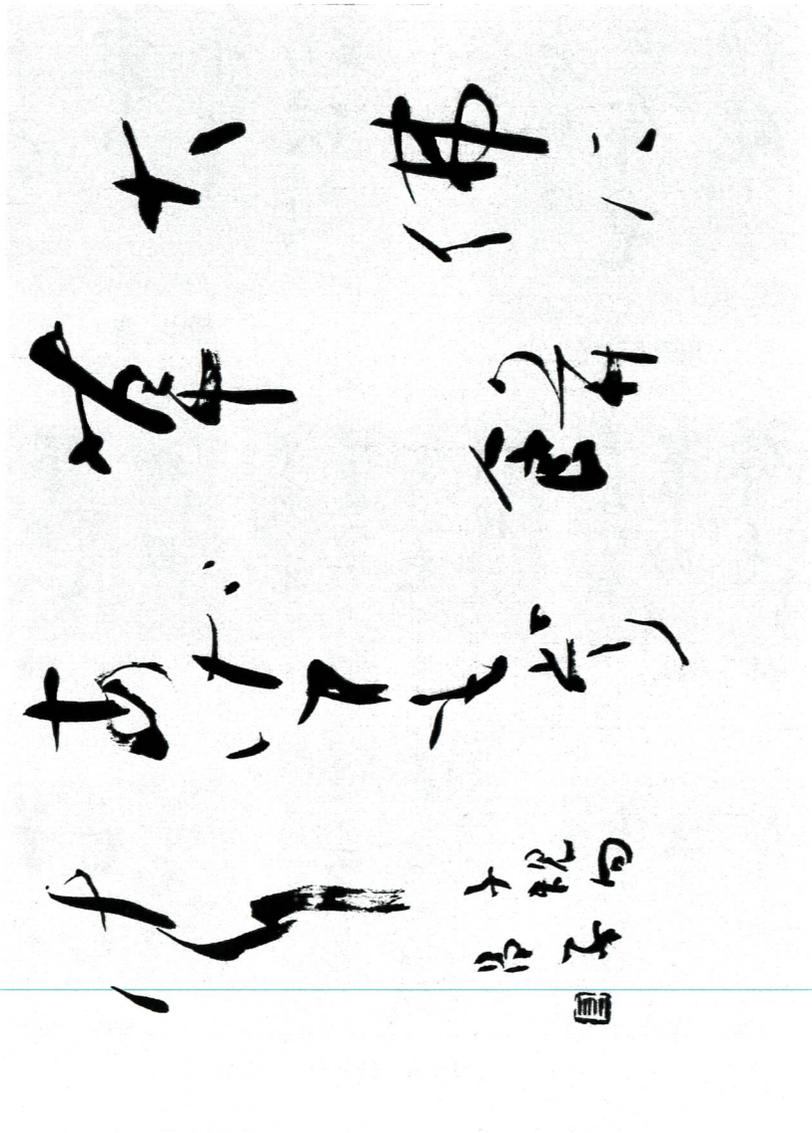


福 原 曉 雲 臨



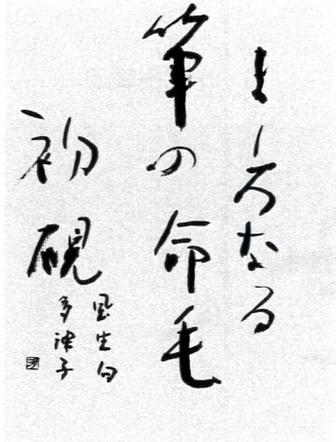
竹内昌子先生書

正岡子規句

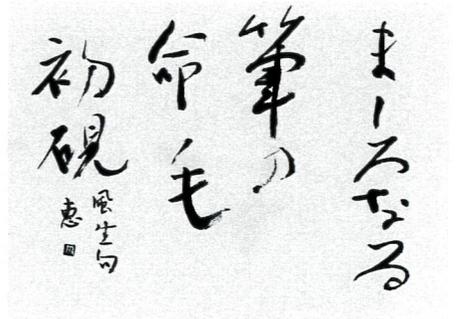


大佛に 草餅 あげてもどりけり

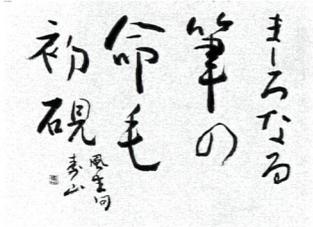
4月20日縮切



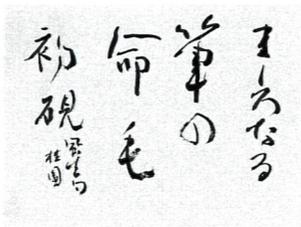
川野多津子



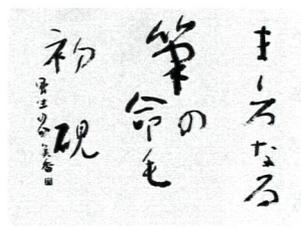
横山 恵



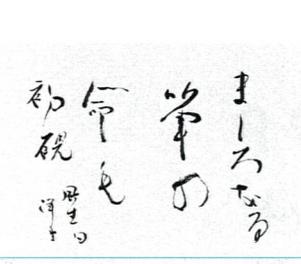
森本 寿山



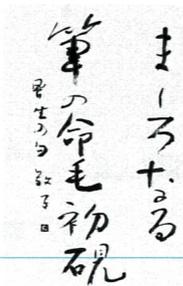
大原 桂園



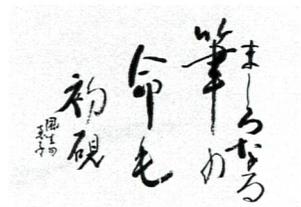
中川 美香



浜崎 洋堂



明神 敬子



野中 恵花

☆ 初めての近代詩文コーナーに、多数出品していただきありがとうございます。これからも、楽しく書いてどしどし応募をお願いいたします。  
 ※応募規定は、その審査月号に掲載されている課題詩句とします。また、規格は半紙で縦横は自由です。

江西澄翠書

白雲吟雨如盤  
紅葉驚風出詔筆

大原桂園臨

之河以才以皮此  
以若中語邪

今井真理臨

為津為梁提之濟之  
若此無價吾提

野中惠花臨

不願使射為軍容倭  
年之友又一昨光

今思与我金蘭及室山  
集會一處量高仙

西山極山

出才啻夫喋喋小吏  
非社稷出重上

田村和子

而親授之乎惡舍游  
夏之徒附之別人

大平圭子

十月五日義之忽有忒  
情善深之心同不可至前

氏原美泉

僧寂澄興福寺  
安徳 僧賢榮元興寺  
大白坊  
泰範元興寺  
般多 泰法般多 忠榮

岡林邦心

如果授之邱明乎  
則上羊穀梁

岩河里華

追惟醇甚禱慕權飽  
痛女志則痛者矣

浜崎洋堂

應逆古而鎮常赴感  
應身經塵劫而石朽

大石千施

工用為交滴朱厭美為  
以假回蒙當媿而通

岩崎竹山

弘仁三年十一月十五日  
於高峯山寺之

横山桂華

条幅当選作品 廣末幽念 選評

★天位

西山極山君 全体に良く流れてみることが出来ます。

田村和子君 非常に伸びのびといいです。

大平圭子君 のびやかで暖かみがある。

氏原美泉君 筆が良く立ち紙面構成も良い。

岡林邦心君 堂々たる練れた線で意気盛ん。

★地位

岩河里華君 じっくり落ちついた書きぶりの作品。

浜崎洋堂君 手慣れた書きぶりで気脈も一貫しています。

大石千施君 しっかりとした書きぶりが全体を強く感じ

させている。

★人位

岩崎竹山君 もっと大胆に筆が動くと迫力のある作品に

なる。

横山桂華君 おだやかな線で好感がもてる。

作品は毎月20日必着  
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

3月の審査は22日(日曜)午前9時30分に開始  
します。審査会場は**高知会館**です。

☆審査会終了後、総務会を行います。

総務の方、全員の出席を望みます。

彼方山の春

4月20日締切

言實行不實

4月20日締切

常緑の木

4月20日締切

川の池

4月20日締切

小学四年課題 弘田賀峰書

武人学

4月20日縮切

小学三年課題 大原桂園書

社会

4月20日縮切

はる

4月20日縮切

はる

4月20日縮切

小学校生活最後の一年です。										
一年間、自分で課題を決め、										
方法を考えて、思い出に残る										
学習記録を作りましょう。世										
界に一つだけの、たから物に										
なりますよ。										
学校名	六				年	級	氏名			

4月20日締切

おにぎり石の出現は、ある										
日とつぜんだった。学校のう										
ら庭に、じゃりがしかれてい										
る場所があり、そこにあるふ										
つうの石たちにまぎれて、発										
見されるようになったのだ。										
学校名	五				年	級	氏名			

4月20日締切

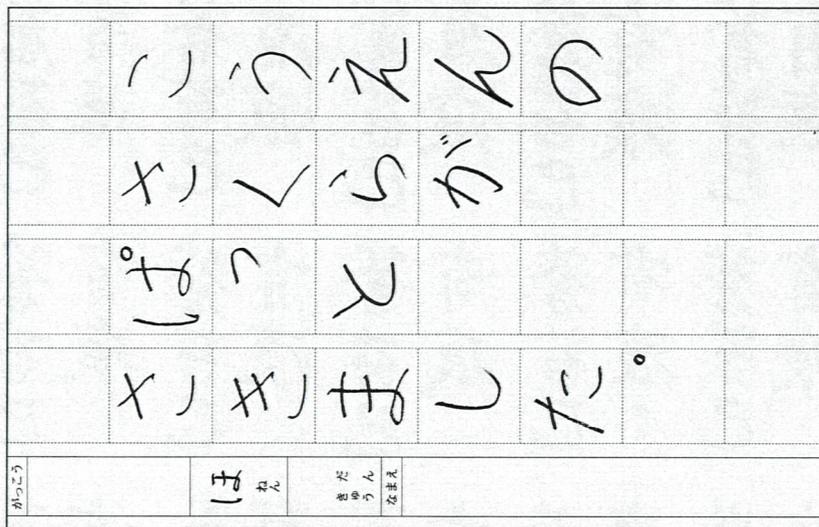


「	春	風	が	ね	ぼ	う	し
て	い	る	な。	竹	や	ぶ	も
雪	も	ふ	き	の	と	う	も
み	ん	な	こ	ま	つ	て	
春	風	、	お	き	な	せ	い。
がっこう		二ねん	だん	きょう	なまえ		

4月20日締切

き	こ	え	る	よ		
た	ん		た	ん		
た	た		た	ん		
な	ん	の	お	と		
がっこう		一ねん	だん	きょう	なまえ	

4月20日締切



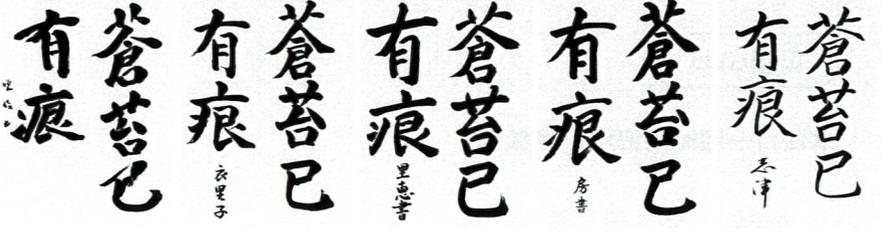
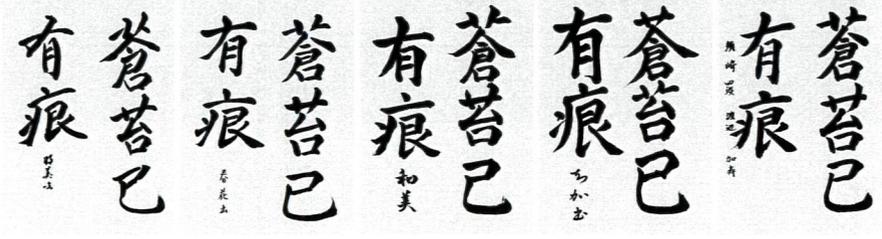
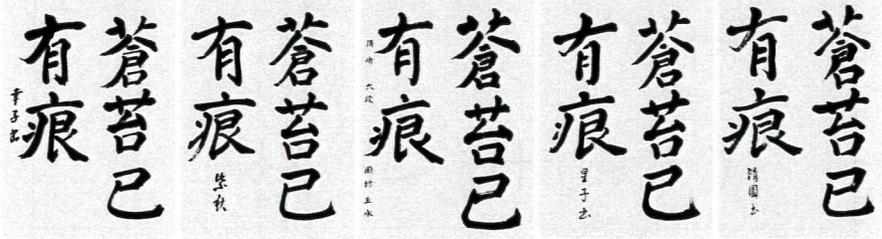
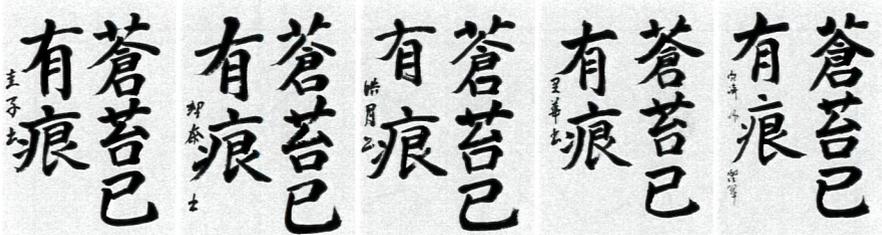
4月20日締切

お知らせ

★第二十回高南市美術展覧会

奨励賞 西山極山

" 堀内仁峰



(一・二段目) 前田秀華 選評  
 澄翠君 用筆の巧み、品格も高い。  
 里華君 軽快にして手馴れた運筆。  
 皓月君 筆力充実し堅実な作品。  
 理奈君 気迫のこもった健康な書き振り。

圭子君 字々の懐も大きく暢びやか。  
 清園君 余白の明るい作。  
 (二・三段目) 西山極山 選評  
 星子君 段目のみのある線で安定している。

玉水君 いていねいな書きぶり。  
 紫秋君 堅実な書きぶりで力強い。  
 幸子君 太い線、細い線で変化があり、味わいある作品。

加寿君 適度な筆圧がきいて作品が明るい。  
 (三・四段目) 岩河里華 選評  
 知加君 ゆつたりと良くまとまりました。

和美君 点画がしつかりして佳作。  
 春花君 小粒ながら起筆、終筆しつかりしている。

明美君 紙面をしつかりとらえて力強い。落款は臨でなく書るい作。  
 志津君 いつもながらやさしい、明るい作。

房君 力強くバランス良くまとまっている。  
 (四段目) 岡林邦心 選評  
 里恵君 いていねいな運筆で明るい。  
 衣里子君 前者に同じ。

悦枝君 力強い作ですが「有」の形太細に注意。



日常の  
話題

公大明  
五年 田村 健作

待春つを

まだる  
六年 田村 健作

給食  
当番

公大明  
五年 田村 健作

小川の  
石の

まだる  
五年 田村 健作

少年時代

公大明  
五年 西内 晴利

小川の  
石の

まだる  
二年 小田 健作

少年時代

待春つを  
田村 健作

小川の  
石の

そら  
二年 小田 健作

少年時代

待春つを  
五年 島村 心造

小川の  
石の

そら  
三年 小田 健作

公大明

待春つを  
五年 島村 心造

まだる

そら  
五年 島村 心造

(一段目) 中学部  
杏実君 良くまとまっていますが、もう少し肉付きが  
ほしい。

綜 君 力強く書けています。

河村容舟 選評

(一段目) 小学六年  
リサ君 力強い線がよい。

倅空君 ねいにねいに書けています。

深瀬緑堂 選評

(二・三段目) 小学五年  
実咲君 堂々として大変良い。

健悟君 良くまとめています。

蒼來君 ねいにねいに書けています。

深瀬緑堂 選評

(二・三段目) 小学四年  
明利君 堂々として力強く書けています。

紗雪君 ねいにねいに書けました。

心遙君 力強く書けました。

梨衣奈君 のびのびとして、よくまとめました。

瀧 君 どうぞと書けました。がんばって沢山書いて  
下さい。

奥堂皓月 選評

(三段目) 小学三年  
はるか君 しっかりと力強く書けています。

依吹君 ねいにねいに書けました。

みのり君 のびのびと元気があります。

おと君 堂々としてよく書けています。

(三・四段目) 小学二年  
のぞみ君 力強く書けました。

ゆま君 のびのびと良く書けています。

えな君 ねいにねいに書けています。

斗維君 元気よく書けています。

(四段目) 小学一年  
ゆいと君 明るく書けました。

こな君 かわちよくねいに書けました。

なる君 かわちよくねいに書けました。「そ」が元気で  
いいですね。

佐竹江月 選評

多ノ郷 大城 リサ  
久礼 森岡 虹

ボケッの中にビー玉五つ  
亮はときどきそれにさわる。  
ビー玉は転がると、閉じこめ  
られた色のかけらが代わる代  
わる現れて、あ、という間に  
差しこむ光にこけていく。  
……多ノ郷 大城 リサ

ボケッの中にビー玉五つ  
亮はときどきそれにさわる。  
ビー玉は転がると、閉じこめ  
られた色のかけらが代わる代  
わる現れて、あ、という間に  
差しこむ光にこけていく。  
……久礼 森岡 虹

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方を考えた  
にえいき、うをあたまました。  
……長岡小五郎 森田 実咲

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方を考えた  
にえいき、うをあたまました。  
……須崎 五郎 金堂 莉李

長岡 森田 実咲  
須崎 金堂 莉李

池川 片岡亜李紗  
浦ノ内 正木 芳尚

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方を考えた  
にえいき、うをあたまました。  
……池川小五郎 片岡 亜李紗

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方を考えた  
にえいき、うをあたまました。  
……浦ノ内 正木 芳尚

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方を考えた  
にえいき、うをあたまました。  
……越知 藤崎 華乃

「論語」は、中国の古代の  
思想家である孔子と、その弟  
子たちの問答を記録した書物  
です。日本にも古くから伝え  
られ、人々の生き方を考えた  
にえいき、うをあたまました。  
……岡豊 島村 心遥

越知 藤崎 華乃  
岡豊 島村 心遥

すさき 金堂 涼  
浦ノ内 徳永 隼斗

夏になると、庭や公園  
のすみなと、ありの行  
列を見かけることがあり  
ます。行列は、ありの果  
から、えさのある所まで  
つづいています。  
……すさき 金堂 涼

夏になると、庭や公園  
のすみなと、ありの行  
列を見かけることがあり  
ます。行列は、ありの果  
から、えさのある所まで  
つづいています。  
……浦ノ内 徳永 隼斗

夏になると、庭や公園  
のすみなと、ありの行  
列を見かけることがあり  
ます。行列は、ありの果  
から、えさのある所まで  
つづいています。  
……久礼 政岡 有美

夏になると、庭や公園  
のすみなと、ありの行  
列を見かけることがあり  
ます。行列は、ありの果  
から、えさのある所まで  
つづいています。  
……あそう うめばらゆま

久礼 政岡 有美  
あそう うめばらゆま

多ノ郷 坂本 美咲  
なる 坂本 翔成

そつ、と水の中を  
のぞきこみました。  
池の水がきらきら光  
って、ふたりの顔が  
うつりました。  
……多ノ郷 坂本 美咲

そつ、と水の中を  
のぞきこみました。  
池の水がきらきら光  
って、ふたりの顔が  
うつりました。  
……なる 坂本 翔成

子どもたちが、  
ふうせんに、花の  
たねを、つけて  
とばしました。  
……うらノ内 山さき ひな

子どもたちが、  
ふうせんに、花の  
たねを、つけて  
とばしました。  
……うらノ内 山さき ひな

うらノ内 とくながあやと  
うらノ内 山さき ひな





<p>毛筆五年</p> <p>★九段 審査 深瀬 緑堂</p> <p>★八段 長岡 森田実咲</p> <p>★七段 小高坂 川西康介</p> <p>★七段 佐古 田村健悟 吾桑 高橋蒼來 吾桑 松坂美緒音 須崎 金堂莉李 須崎 津野聖佳</p> <p>★四段 長岡 西内明利 吾桑 宮崎穂花</p> <p>★初段 上分 赤崎南美 上分 中山結愛</p>	<p>毛筆四年</p> <p>★八段 審査 深瀬 緑堂</p> <p>★七段 須崎 毛利香花</p> <p>★七段 須崎 田村紗雪 浦ノ内 正木芳尚</p> <p>★五段 岡豊 島村心遙 上分 梅原未來 長岡 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希</p> <p>★四段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太</p> <p>★三段 越知 藤崎華乃</p> <p>★二段 長岡 澤村郁菜 吾桑 長山優奈</p>	<p>★初段 野市 小笠原瑠那</p> <p>★二級 越知 ○宮脇未羽</p> <p>★六級 長岡 ○湯川 澤</p> <p>★九級 池川 ○片岡美桜</p> <p>毛筆三年</p> <p>審査 奥堂 皓月</p> <p>★五段 上分 吉村はるか 須崎 金堂 涼</p> <p>★四段 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ 新莊 中島彩斗 上分 橋田一か</p> <p>★三段 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇冴</p>	<p>★一級 長岡 大塚文雲</p> <p>★二級 別府 ○吉永羽唯</p> <p>★三級 池川 ○藤原汐雫</p> <p>★四級 多ノ郷 濱田理仁</p> <p>★七級 越知 ○小田緒十</p> <p>もうひつ二年</p> <p>審査 奥堂 皓月</p> <p>★四段 吾桑 松坂望未</p> <p>★二段 吾桑 梅原由菜 野市 小笠原恵那</p> <p>★初段 岡豊 荻 かお</p>	<p>★一級 岡豊 三谷斗維</p> <p>★二級 別府 ○片岡しゅうへい</p> <p>★三級 べふ ○ふじはらみずき</p> <p>★六級 奈路 ○坂本翔成</p> <p>もうひつ一年</p> <p>審査 佐竹 江月</p> <p>★三段 新莊 なかじまゆいと</p> <p>★二段 須崎 金どうこな</p> <p>★初段 池川 後藤和葉 別府 鶴井遥都</p>	<p>★二級 池川 藤原成琉</p> <p>もうひつ ようちほいく</p> <p>審査 佐竹 江月</p> <p>★七級 上分 よしむらそうた</p>	
--	--	---	--	---	---	--

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

# 第708回硬筆成績

○印は昇級

## 硬筆六年

審査 江西 澄翠

★特待生

多ノ郷 大城リサ  
須崎 松田菜乃  
上分 梅原百叶  
多ノ郷 松浦結菜  
上分 小松希美

★九段

久礼 森岡 虹  
長岡北村さくら子  
長岡内美島希以花  
浦ノ内 窪田茉優  
久礼 松山 翔  
浦ノ内 竹内陽南子  
上分 田邊璃音

★八段

浦ノ内 森田 葵  
越知 片岡杏璃

★七段

上ノ加江政岡桃加  
岡嶋 中司こころ  
須崎 田村拓海  
吾桑 梅原蒼葉

★六段

浦ノ内久保田健介  
上分 柳本稀衣  
上ノ加江岩田愛菜  
岡嶋 島村倅空  
潮見 須賀勇介

★五段

別府 後藤 樹

★四段

浦ノ内 中田瑚音

★三段

吾桑 高橋芽生奈  
藤沢 駒崎信慈

## 硬筆五年

審査 森本 寿山

★特待生

長岡 森田実咲  
★九段

野市 小笠原結那

★八段

小高坂 川西康介

★七段

須崎 金堂莉李  
久礼 薦田コモモ

★六段

吾桑 松坂美緒音  
佐古 高橋蒼來  
越知 田村健悟  
須崎 米澤陽翔  
津野聖佳

★六段

浦ノ内 中平澤里  
越知 西森優奈  
久礼 黒原小夏

★五段

吾桑 宮崎穂花  
久礼 笹岡玲斗

★四段

長岡 西内明利  
吾桑 笹岡蒼馬  
上分 橋田 陸

★三段

池川 片岡亜李紗  
池川 北村日和  
越知 大原穂乃花

★二段

久礼 堀田瑛太  
上分 中山結愛

★一級

上分 赤崎南美  
別府 片岡龍威

## 硬筆四年

審査 野中 恵花

★八段

浦ノ内 正木芳尚

★七段

須崎 毛利香花  
須崎 田村紗雪

★六段

浦ノ内 池田理人  
浦ノ内 藤田彩葉

★五段

越知 藤崎華乃  
岡嶋 島村心遥  
多ノ郷 太田朋希  
長岡 竹内加菜心  
多ノ郷 森光梨衣奈  
多ノ郷 坂本大和  
長岡 宮脇治太  
上分 梅原末來

★四段

野市 小笠原瑠那  
上ノ加江吉原綾人  
上ノ加江片山陽莉  
久礼 日林ゆあ  
吾桑 長山優奈

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙  
書道用具萬般乞来店

(株)

高知市南宝永町14-18

TEL (代) (882) 1394番

夜間・TEL (882) 1392番

<p>★三段 池川 藤崎葉史</p> <p>★二段 長岡 澤村郁菜 浦ノ内 森田海音</p> <p>★二級 別府○藤原すみれ</p> <p>★四級 長岡 ○湯川 滯 越知 ○宮脇未羽</p> <p>★五級 上ノ加江 ○山口蒼生</p> <p>★六級 久礼 ○細木龍生</p> <p>★九級 池川 ○片岡美桜</p>	<p>硬筆三年 こっひつ</p> <p>審査 中平 美峰</p> <p>★六級 須崎 金堂 涼</p> <p>★五級 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ</p> <p>★四級 浦ノ内 徳永準斗 上分 橋田一か 久礼 黒原李香 上分 中島彩斗</p> <p>★三段 久礼 政岡有美 池川 北村心暖 岡豊 中みのり 池川 片岡紗雪 久礼 下谷琴春 池川 伊藤日向 長岡 上村心晴 安井 颯</p> <p>★二級 長岡 金堂孝亮 岡豊 島村昇牙 久礼 小林奈穂</p>
<p>久礼 岩瀬 葵 奈路 植野 夢 上ノ加江 政岡倉史 吾桑 鈴木 花</p> <p>★初段 城東 丸山颯士 上ノ加江 大内柚乃 大谷北 倉持百花 吾桑 宮崎陽香 久礼 加茂海弥美 吾桑 堅田彩乃</p> <p>★一級 越知 宮脇芽生 長岡 大塚文雲</p> <p>★二級 別府 ○吉永羽唯</p> <p>★三級 池川 ○藤原汐零 馬路 木下魁人</p> <p>★五級 久礼 ○佐竹真到</p> <p>★八級 越知 ○小田緒十</p>	<p>こうひつ二年</p> <p>審査 石川 美水</p> <p>★五級 吾桑 梅原由菜 吾桑 松坂望未</p> <p>★四級 多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内吉岡まひろ</p> <p>★三段 浦ノ内 中平湧大 附属 江頭 航</p> <p>★二段 久礼 森岡 紅 浦ノ内寺内かのん</p> <p>★初段 野市 小笠原恵那 高岡 井上めい 越知 隅田珠苗 久礼 奈路佳苗 岡豊 荻 かお</p> <p>★一級 別府 片岡しゅうへい</p>
<p>岡豊 三谷斗維 上分 橋田果歩</p> <p>★四級 奈路 ○坂本翔成 別府 ○ふじはらみずき</p> <p>★五級 久礼 ○細木翔生</p> <p>★七級 久礼 ○松山愛実</p> <p>こうひつ一年</p> <p>審査 石川 美水</p> <p>★三段 しんじょう なかじまゆい</p> <p>★二段 須崎 金どうこな 別府 後藤和葉</p> <p>★一級 浦ノ内 とくながあやと</p>	<p>中国文房四宝 国産書道用品 久保田号銘筆</p> <p>有限会社 樹筆堂</p> <p>〒780-0818 高知市宝永町3-3 TEL (088) 882-1454 FAX (088) 884-7413</p>

のり代
8年 月筆 4毛
校名
学年
保年
氏名
段級

★二級 久礼 小林じゅんな	こうちひつ ようち・ほいく
★三級 浦ノ内 ○山さきひな 池川 大西悠心 久礼 日林にこ	審査 石川 美水
★四級 久礼○毛利いろは 吾桑 ○鈴木 杏	★七級 かみぶん ○吉村そなた
★五級 池川 ○藤原成琉 久礼○下谷なのか	★八級 たちばな ○坂本ゆうま
★七級 久礼○中野せいら	
★新規 十級編入 長岡 浪上照子	

# 工 夫

書を学ぶには工夫が必要である。ただ徒らに自分勝手に書いてはならぬ。先ずこの木領を確立することが大切である。本領とは自分の独りよがりのものではない。必ず古人の法を規矩としたものでなければならぬ。古人の法を用いてしっかりした土台が出来たならば、次には心を用いて映帯勻美の工夫をしなればならない。

しかし、古人の法を学ぶといっても、その巧みなるところをとるべきである。その拙なるところまでとるのはよろしくない。また博く諸家の法を研究するということは容易ではないが、出来るだけこれに力を尽くし、それに通曉せねばなるまい。

また、古人といっても時代の極く古い人と近い時代の人との法を雑え用いるということは、兎角調和を乱しやすいためであるからよく注意しなければならぬが、これを巧みに調和させたならば面白い結果を生じることがあり得る。

(龍跳創刊40周年記念特別号より)

のり代
8年 月筆 4硬
校名
氏名
段級

# 春季昇段級試験合格者

三月一日審査

特待生になられた方は、顔写真とあいさつ文簡潔に)を三月二十二日、審査日迄に本部に届け下さい。

※合格者氏名はすべて順不同です。

## 第一部

★六段

横田紫秋  
山本心春

★五段

渡辺加寿

★四段

高橋美章  
品原律子

★三段

西村百花  
松坂雅月

★二段

川崎志津

## 第二部

★初段

富山里恵  
西内俊二  
太田有紀  
片岡桂子  
藤原衣里子  
藤原杏実  
片岡晃美  
尾立千賀

## 中学部

三年

★特待生

松浦由奈

★五段

藤原杏実

一年

★五段

庄武聖愛

★初段

藤原さくら

## 小学部

毛筆六年

★特待生

小松希美  
鶴井香月  
宮脇改太

★九段

北村さくら子  
島村倅空

★八段

田邊璃音  
田村拓海  
柳本稀衣  
竹内陽南子

★七段

梅原蒼菜

★六段

中司こころ

★五段

藤崎杜真

後藤 樹

毛筆五年

★特待生

森田実咲

★九段

川西康介

★八段

津野聖佳  
金堂莉李  
松坂美緒音  
高橋蒼来  
田村健悟

★五段

西内明利  
宮崎穂花

★二段

赤崎南美  
中山結愛

毛筆四年

★九段

毛利香花

★八段

正木芳尚  
田村紗雪

★六段

梅原茉来  
太田朋希  
竹内伽菜心  
島村心遥

★五段

森光梨衣奈  
宮脇治太

★四段

藤崎華乃  
澤村郁菜

★三段

長山優奈

毛筆三年

★六段

金堂 涼  
吉村はるか

★五段

橋田かほ  
高橋依吹  
中島彩斗  
橋田一か

★四段

島村昇冴  
中司みのり

★三段

小松時生

★初段

吉永羽唯

★三級

濱田理仁

★五級

小田緒十

<p>★二級 片岡しゅうへい 三谷斗維</p> <p>★七級 井上めい</p> <p>★初段 荻 かお</p> <p>★二段 梅原由葉</p> <p>★三段 松坂望未</p> <p>★五段 久保田健介 須賀勇介 岩田愛菜 島村倅空</p> <p>★初段 宮脇改太 田邊璃音 美島希以花 谷口桜心 松山 翔 竹内ひなこ 北村さくら子 森岡 虹 窪田茉優</p> <p>★九段 片岡杏瑠 森田 葵</p> <p>★八段 柳本稀衣 梅原蒼葉 田村拓海 政岡桃加</p>	<p>もうひつ二年</p> <p>★二級 ごとうかずは 鶴井遥都</p> <p>★初段 藤原成琉</p> <p>硬筆六年 こうひつ</p> <p>★特待生</p>	<p>★二級 中司こころ</p> <p>★七級</p> <p>★六段</p> <p>★五段 後藤 樹</p> <p>★四段 中田瑚音</p> <p>★三段 高橋芽生奈 駒崎信慈</p> <p>★初段 鎌倉彩笑</p>	<p>硬筆五年 こうひつ</p> <p>★九段 川西康介</p> <p>★八段 松坂美緒音 高橋蒼來 津野聖佳 金堂莉李 こも田こもこ</p> <p>★七段 中平滯里 黒原小夏</p> <p>★六段 木下歌乃 宮崎穂花 笹岡玲斗</p> <p>★五段 笹岡蒼馬 橋田 陸 西内明利</p> <p>★四段 北村日和</p>	<p>★初段 片岡龍威 赤崎南美</p> <p>硬筆四年 こうひつ</p> <p>★九段 正木芳尚</p> <p>★八段 毛利香花 田村紗雪</p> <p>★七級 藤田彩葉 池田理人 島村心遥</p> <p>★六級 藤崎華乃 梅原未來 坂本大和</p>	<p>★五段 太田朋希 森光梨衣奈 宮脇治太 竹内伽菜心</p> <p>★初段 長山優奈 吉原綾人 片山陽莉 日林ゆあ</p> <p>★四段 猪野光騎 藤崎菜央 黒原小春 森田海音 澤村郁菜</p> <p>★二級 宮脇未羽</p> <p>硬筆三年 こうひつ</p> <p>★七級 金堂 涼</p> <p>★六級 吉村はるか 高はしいぶき はし田かほ</p>	<p>★五段 中島彩斗 橋田一か 徳永隼斗 黒原李香 中司みのり</p> <p>★四段 安井 颯 下谷琴春 政岡有美 片岡紗雪 上村心晴 北村心暖 伊藤日向</p> <p>★三段 鈴木 花 植野 葵 金堂孝亮 政岡倉史 小林なほ 岩瀬 渉 島村昇冴</p> <p>★二段 宮崎陽香 かたたあやの 大内楓乃 丸山颯土 倉持百花</p>
---	---	--	--	--	--	--

<p>★初段 かもみやび</p> <p>★初段 吉永羽唯 宮脇芽生</p> <p>★五級 濱田理仁 小田緒十</p> <p>こうひつ二年</p> <p>★六段 うめばらゆま まつさかのぞみ</p> <p>★五段 吉岡まひろ 坂本美咲</p> <p>★四段 中平湧大 江頭こう</p> <p>★三段 寺岡か音 森おかべに</p>	<p>★二段 荻 かお すみ田しゆう 井上めい なろかなえ</p> <p>★初段 三谷斗維 片岡脩平 橋田果歩</p> <p>こうひつ一年</p> <p>★四段 なかじまゆいと</p> <p>★三段 金どうこな</p> <p>★初段 とく永あやと</p>
---	---

<p>【集約係】 西山極山 別役美佐</p> <p>【展示係】 弘田賀峰 浜崎洋堂</p> <p>【集計係】 大原桂園 水田紅子</p> <p>【会計係】 隅田亘心</p>	<p>【審査員】 ○印は責任者</p> <p>◎師範の部 ○福原暁雲 梅川桂龍 廣末幽念 前田秀華 武内美仁</p> <p>◎第一部 福原暁雲 ○梅川桂龍 前田秀華 廣末幽念 武内美仁</p> <p>◎第二部 ○岡林邦心 西山極山</p>	<p>◎学童毛筆 中学～小学五年 ○河村容舟 佐竹江月</p> <p>◎学童硬筆 小学四年～保育 ○弘田賀峰 浜崎洋堂</p> <p>◎学童硬筆 六年・五年 ○森本寿山 石川美水</p> <p>四年・三年 ○江西澄翠 深瀬緑堂</p> <p>二年・一年 保育・幼稚 ○野中恵花 中平美峰</p>
--	---	---

春季昇段試験担当

## 連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三―一

隅田巨心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925

電話(〇八八九) 三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七) 二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九) 四七―〇七二一番

あとがき

令和8年度、新年度が始まりました。

新入生、新入社員を迎え学校や職場では新鮮な空気が漂う季節です。

学童の作品も1学年上級の学年で提出されます。子供たちの1年間の成長は作品を見ても、身体や心の成長でも目を見張ります。いつまで経っても同じところにいる、いいえ、下行の一途をたどる私は子供たちのエネルギーを少し分けて貰いたいと願うこの頃です。

そして、4月から学童のお手本が新しくなり、担当者から毎月提出されてきます。規定、随意、臨書、かなのお手本は言うまでもなく、お手本担当者のご苦労に敬意を払いながら、編集室はお預かりした作品を拝見させて頂き雑誌に掲載できるように準備します。会員の皆様の毎月の努力の結果である審査結果、お知らせ事項等を編集して印刷所に届けます。(間違いがないようにと注意しながら)

原稿が全てそろって印刷所に届けると私達の編集の仕事は一段落です。

# 月例競書課題

保 育	" 一年	" 二年	" 三年	" 四年	" 五年	小学六年	" 一年	" 二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部 別
													縮切日 四月二十日 縮切
た け こ え	は る お と	社 会 水 音	入 学 式 そ よ 風	池 の 回 り 書 き 取 り	常 緑 の 木 羊 毛 の 筆	不 言 実 行 世 界 紀 行	春 山 の 彼 方 緑 の 街 路 樹	任 意 任 意	日 暮 且 孤 征 川 原 迷 舊 國	任 意 任 意	縮切日 五月二十日 縮切		

## 会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10~)  
(幸便搬送の方は干料不要)

Ⓐ	1冊	180円
Ⓑ	2冊~7冊	210円
Ⓒ	8冊~20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

21冊            Ⓒ+Ⓐ=610円×月数  
22冊~27冊    Ⓒ+Ⓑ=640円×月数  
28冊~40冊    Ⓒ×2=860円×月数  
50冊の場合    Ⓒ×3=1,290円×月数

◎会費と龍跳誌干料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ  
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心  
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分  
誌代 ○円 / 干料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人

福原 曉雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-10081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (〇八八) 86518857